

## ■ 体力・運動能力などの傾向

### ♣ 体格(身長・体重・肥満痩身)

小学生の身長・体重は、男女ともに全国平均を上回っています。中学生男子は身長・体重ともに全国・全道平均を下回っており、女子の身長は全国・全道平均を上回っていますが、体重は下回っています。

肥満度は、小学生男子は正常範囲の児童が全国・全道平均を上回っており、女子は全国・全道平均並みです。中学生は小学生とは逆に、男子は正常範囲の生徒が全国・全道平均並みで、女子は上回っています。



### ♣ 種目別運動能力 ※表：種目別一覧を参照

小学生は、男子の「握力」「ソフトボール投げ」と女子の「握力」は2年連続で全国・全道平均を上回っていますが、男子は「上体おこし」「長座体前屈」「50m走」「立ち幅とび」の4種目が3年連続で全国・全道平均を下回っていますので、今後の課題として捉えられます。

中学生は、男女ともに「握力」は全国・全道平均を上回っていますが、「長座体前屈」は3年連続で下回っています。男子の「反復横とび」「20mシャトルラン」は今回初めて全道平均を下回っています。特に、男女ともに「柔軟性」が要求される「長座体前屈」は継続した課題となっています。

# 楽しい体育の授業づくりで 運動の日常化を

平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を活用して

今年度の全国体力・運動能力、運動習慣等に関する調査(実技8種目及び児童生徒質問紙)は、例年どおり小学5年生と中学2年生を対象に実施されました。

表：種目別一覧

- ◎ … 全国平均より高い、または同程度
- … 全国平均より低いが、全道平均より高い、または同程度
- △ … 全国・全道平均より低い



区分	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	
小学校	男子	◎	△	△	△	○	△	△	◎	△
	女子	◎	△	△	△	△	○	○	△	△
中学校	男子	◎	△	△	△	△	△	△	○	△
	女子	◎	○	△	△	○	△	△	○	○

※ボール投げ 小学校はソフトボール、中学校はハンドボールを使用

### ◆運動能力による体力合計点

小学生は、男女ともに「体力合計点」はほぼ正常の範囲にあります。男子は中間よりやや下層に、女子は中間層に多くなっています。

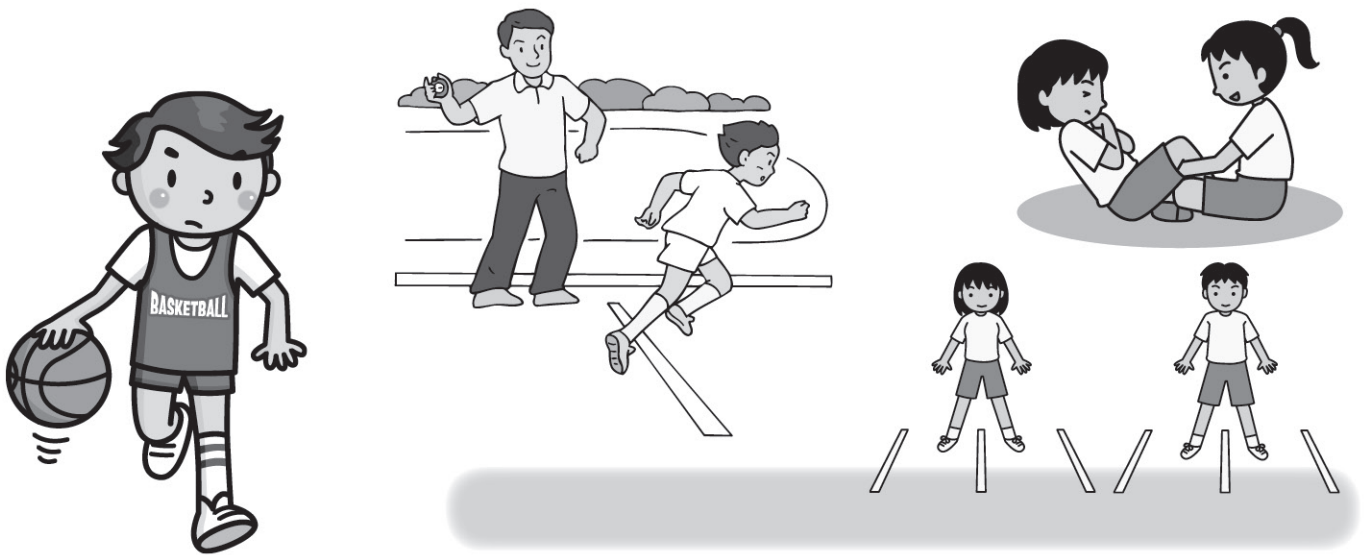
中学生は、男子の「体力合計点」が低く、男女ともに体力の二極化現象が見られます。男子は中間層と下層に、女子は上層と下層にやや多くなっています。特に、男子は全国・全道平均より最下層の割合が高くなっています。

### ■運動に対する意識や運動習慣の傾向

小学生は、男女ともに「運動するのが好き」と回答した割合は3年連続で全国・全道平均を上回っています。しかし、「体力に自信がない、またはあまり自信がない」と回答した男子は5割、女子は4割となっています。また、男女ともに「1週間の総運動時間実施率」は全国・全道平均を上回っており、「運動・食事・睡眠・決まりを守ることの大切さ」に対する意識は非常に高くなっています。

中学生は、男女ともに7割が「体力に自信がない、またはあまり自信がない」と回答し、特に男子は全国・全道平均を大きく上回っています。男子の「運動・食事の大切さ」に対する意識と女子の「運動・食事・睡眠の大切さ」に対する意識は、全国・全道平均とほぼ同じく高くなっています。しかし、男子の5割が「保健体育授業で学んだ内容は将来役に立たない」と回答しています。

小・中学生男女ともに「家の人から積極的な運動のすすめ」は、全国・全道平均を大きく上回っています。



### ■今後の取り組み

今回の調査結果をもとに良さや課題を明らかにし、課題に関しては具体的な改善策を講じ、運動する機会の一層の充実を図ります。

基本的には、生涯にわたって運動に親しむ意欲を育て、運動の楽しさや喜びを味わう経験、自ら考えたり工夫したりする経験を得ることが重要であり、学校・家庭・地域のなお一層の連携と協力が必要です。

①児童・生徒のニーズを踏まえたきめ細やかな「楽しい授業づくり」に努めるとともに、意欲を持ち継続した運動ができるように、目標を立てて成就感や満足感を味わい、自信の持てる取り組みを大切にします。

②課題となった種目を取り上げ、体力の5要素である「力強さ」「敏捷性」「タイミングの良さ」「柔軟性」「持続性」をバランスよく取り入れ、劣っている要素は意図的に補強運動として継続的に取り組みます。

③運動時間と回数の多さが体力向上を促進する要因と考えられますので、運動の得意・不得意にかかわらず、体を動かすことの楽しさ、心地よさを感じられるように運動の日常化が大切となります。

④スポーツ少年団や部活動などで運動する児童・生徒が多いですが、さらに継続して取り組めるように条件整備に努めます。

※お問い合わせは、教育委員会子ども課(☎2-3014)まで